

相模原中 R C

会報

第 2137 回例会

10月4日 No13

会長 小崎 直利



イマジン ローターリー

幹事 大井 達

●友好クラブ

- 韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
- 台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第 3461 地区

●姉妹クラブ

- 千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

- 光明学園相模原高等学校



ゲスト卓話「米山奨学月間にあたり」

(概要にて掲載)

米山奨学生

朱 奕琳 (シュイリン)

今日は卓話の機会を頂き、更に自分のことを紹介し、皆さんと距離を縮めるため頑張ります。

私は 2000 年に上海で生まれ、一人っ子です。でも実は妹が一人います。彼女は 12 歳のワンちゃん「豆板醬」で、こちらが家族写真です。



父は以前、上海料理のレストランを経営し、一定の資金を貯めて、現在は大屋さんとして働いています。父の今の趣味は「バイク」です。理由は若い頃は貧乏でしたが、今は自分の生活が改善し、おじさんの歳になっても若い心を持つ必要があるからと主張しています。母も賛成していて、「永遠の 18 歳」という理念を持って暮らしています。

母の趣味は写真を撮ることで、景色ではなく食べ物が多いです。外食をする時は、食べる前に皆は待っていて、母が写真を撮り終わるまで動かないようにしています。

私の趣味ですが、中国での 18 年間は主に勉強中心で、サークルにも一切参加していません。

ですので日本に来てから、すぐに「キックボクシングジム」に入会しました。以前にも、親にボクシングをやりたいと言いましたが、「女の子は暴力的な運動はしない方がいい」との理由で許可されませんでした。



日本に来て、やっと一人暮らしを始めて、自分が選択の権利を持ち、以前はできないことが始められました。

また子供の頃から、馬が一番好きな動物で、馬術にずっと憧れています。でも皆さんもご存知の通り、馬術はめっちゃお金が掛かりますので、親から仕送りの生活費だけでは大変です。



なので愛している馬術のため、丸亀製麺でバイトをしていて、この米山奨学金を受ける前までずっと働いていました。そのため、ロータリーは私にとって、本当に大事な助力です。

<日本との縁の始まり>

私が初めて日本に来たのは 2015 年、中学校の卒業旅行として、家族全員で京都と奈良に旅行に行きました。実は、以前の私は日本に対して好感も偏見も何も持っていないで、私と親も当時流行っていた、ただの「爆買い」の一員でした。旅行社と一緒に来たので、団体から離れたこともなく、奈良の鹿が可愛かった以外は、何も印象に残っていないです。

しかし、2 回目に日本の土を踏んだ時は自由行動で、いっぱい日本人と交流したので、何か自分の元々のイメージと違いました。最初に驚いたところは北海道に行った時、飛行機が遅れて、予約した迎えに来るサービスの運転手にも連絡が取れず、家族全員が焦っている状態でした。だから、飛行機が空港に降りて、直ぐに荷物を取りに行きました。普通は、手荷物受取場はターンテーブルになっていることが多いですが、私たちの便は受取場に行った時、全員の荷物がきれいに並んでいました。

このシーンを見た瞬間、心の中の不快感とイライラを感じが一瞬で無くなりました。その後の旅も順調でした。

また上海出身の私にとって、北海道の雪は一生忘れられないぐらいきれいだと思います。恥ずかしいですが、雪を食べたこともあります。北海道の旅では、もっと日本の風土を感じたいため、温泉旅館に泊まりました。ここで面白いことを2つ、皆さんに言いたいです。

1つ目は、私の父が和食定食の量が足りなくて、夜食でカップラーメンを買いました。しかし開けた瞬間、カップラーメンの中にフォークが付いてないのです。中国ではインスタントラーメンにはフォークなどが付いているから、日本ではフォークが無い事に驚きました。



フォークが無くて食べれないから、ホテルのスタッフに箸かフォークを頼んだのですが、当時は日本語が判らず、こんな簡単なことは英語できるとあまく考えていました。

そして、レストランで英語で「お箸はありますか？」と聞いたのですが、予想外にスタッフは困った表情で私を見ていました。私は「しまった！」と思い、一生懸命に対策法を考え、ゴミ箱に使用済の箸があり、「this, this」と指差しながら言って、やっと何となく分かったような顔で、箸を渡してくれました。

スタッフさんが箸の日本語の読み方も教えてくれ、この経験で、たぶん「箸」は一生忘れられない単語になりました。言葉が通じないせいで、こんな簡単なことも非常に複雑になりましたが、日本人のサービス精神をすごく感じられました。

次に完全に日本を好きになった瞬間は、非常に細かいことですが、夜、温泉から上がり、エレベーターに乗る時に、隣に年取った日本人ご夫婦がいて、初対面ですが、笑いながら挨拶してくれました。日本語は判りませんが、善意を感じられました。この出来事は、中国人には友好的でないと思っていた私の日本人に対する先入観を破りました。この北海道旅行が、日本への留学を決意するきっかけだったと思います。

<留学と日本を選んだ理由>

・なぜ留学？

親の保護を離脱し、自分の力で生活してみたい。

・なぜ日本？

- ①ジャーナリストになりたい。中国国内は規制が多いし、良い勉強先ではないと思う。
- ②アジア系のニュースに一番興味を持っていて、全世界に発信したいけれども、一応身近で文化の近いところから職業や勉強を始めたい。
- ③日本は結構、世界各国の文化を吸収し、包容力の高い国だと思います。将来の夢を実現するために一番良い選択だと思います。

<将来の夢>

将来、私が一番目指している職業はジャーナリストです。これが青山学院大学の社会情報学部を選んだ理由です。現代社会は情報社会であり、メディアでは毎日、様々な情報が流れています。

でも、このような情報はデマも多いです。特にSNSが普及して、情報の正確性が問題になります。正確な情報を流すのが、記者の役割だと思いました。ですから、論理的な考え方と正しい情報を探す能力がポイントです。

社会情報学部は文理融合を主張して、簡単に言うとう何でも勉強できる学部です。また青学特有な「リエゾン科目(つなぐ、橋渡し)」を設置しています。2分野が融和している学問の領域で、2分野を同時に学ぶことができ、しかもコース間を超えて履修することができます。

私は「社会・人間コース」を選んで、心理学を重視して勉強を進めています。現在、三年生で香川先生ゼミに加入しました。先生のゼミのテーマは「地域のコミュニティや社会活動への参加、創造的テーマ」を取り上げています。

そして、社会課題に取り組む外部のNPOや地域団体に参加したり、コラボレーション企画にチャレンジすることも多いです。後期のゼミの中で、最も楽しみな企画は「10月23日淵野辺駅 手作りマルシェにて犬のイベント」という活動です。

カウンセラーの阿部さんや教授は、地域活性化

に注目して努力しているから、自分も相模原のために貢献したいと思います。将来、本当にジャーナリストになったら、外国人に関するニュース、国際ニュースを取り上げる記者として活動します。

中・日の民間交流を推進して、差別や誤解、固定観念を解消することが一番の目標です。ロータリーに加入し、会員さんとの交流で、私と同じ目標を持っている先輩が一杯いる事実を知って、更に自信を持っています。皆さんと知り合って本当にありがたいです。後輩として、頑張らなきゃの気持ちがめっちゃあります。

<ロータリーとの縁>

最初、大学の国際センターから「あなたをロータリー米山奨学生に推薦するつもりです」と言われた時は、私は信じられなくて、お断りしました。推薦されても、絶対に合格できないから、他の人に機会を譲りたいと思いました。自分は奨学生になれるぐらい優秀な学生だとは思わないです。

そのまま先生に伝えて、逆に先生から励まされました。やっと勇気を出して書類を準備し、精一杯、面接の練習をしました。

ロータリーの一員として、例会でもいろいろな活動に今後も一杯参加するつもりです。ロータリーに参加したからこそ、知り得たことが1つあります。それは、私もやっと「日本の家」を探したということです。帰属感をくれた、相模原中クラブが大好きです。また、今後も皆さんに前に言った通り、日常生活の中の「ロータリー」を探し続けます。



<朱さんの指導教官よりご挨拶>

青山学院大学

香川 秀太先生



本日は朱さんの卓話ということで、例会にお招き頂き、ありがとうございます。米山奨学生は、奨学金だけでなく、ロータリーとのコミュニティも持っていることに驚いたのと同時に、感銘も受けました。留学生の方々は、日本での関係を築くのが大変だと思いますので、今後もサポートして頂けると、大学として有難く思います。(概要にて)



<理事会報告>

- ①クラブフューチャービジョンのアンケートについて
全会員を対象に実施を承認。10月に予定。
- ②11月の情報集会について
実施の承認。3回(3グループ)を予定。
- ③12月4日(日)地区補助金事業「少年野球教室」
の開催チラシの作成について
原案は小崎会長に依頼。10月末までに作成予定。
- ④千曲川RC合同親睦例会について
欠席者が増えたため、マイクロバスをキャンセル
して、ワゴン車(レンタカー)に変更予定。

スマイルBOX

- 小崎会長、大井幹事
- ①いよいよ10月に入りました。今日も素晴らしい快晴ですね。米山月間に入り、朱さんの卓話でスタートします。朱さん、宜しくお願いします。
- ②南会員、お誕生日おめでとうございます。
- 取住 悦子会員
- ①10月誕生日祝の大井さん、南さん、おめでとうございます。
- ②奨学生の朱さん、卓話楽しみです。
- 阿部 毅会員
- ①米山月間に入り、本日は朱奕琳さんの初体験の卓話です。私は一切、修正しておりませんが、皆さん、どうか生の朱さんを知って頂きたいと思います。
- ②本日も多用の中、朱さんの担当教授の青山学院大学の香川秀太先生をゲストにお迎えしました。
- 中里 和男会員
- ①米山奨学生の朱奕琳さん、ようこそ。卓話よろしくお祈りします。
- ②誕生日祝の大井さん、南さん、おめでとうございます。
- 小野 孝会員
- ゲスト卓話の朱さん、早川さん、よろしく。
- 甲斐 美利会員
- 米山奨学生の朱奕琳さん、卓話楽しみにしています。
- 竹田 繁会員
- ①ゲスト卓話の朱奕琳さん、本日はご苦労様です。
- ②会員誕生日祝の大井会員、南会員、おめでとうございます。
- 櫻内 康裕会員
- ①お祝の大井会員、南会員、おめでとうございます。
- ②ゲスト卓話の朱さん、早川米山副委員長、よろしくお祈りします。
- 伊倉 正光会員
- ①米山月間にあたり、早川副委員長、朱さん、宜しくお願いします。
- ②大井会員、南会員、誕生日祝おめでとうございます。
- 横溝 志華会員
- お祝の大井会員、南会員、おめでとうございます。

会長の時間



本日は米山奨学生の朱さんがいらっしやっていますので、「米山記念奨学会」について、お話をさせていただきます。

「9万人のロータリアンが支援」

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家・米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの協同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに、最もふさわしい国際奉仕事業ではないか。」



事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。60余年の歳月が流れましたが、“民間外交として、世界に平和の種子を蒔く”という米山記念事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考える時、その使命はますます常用性を増しているのではないのでしょうか？

留学生への支援は未来に向かって、平和の架け橋をかける尊い奉仕だそうです。

＜奉仕の人「米山梅吉」＞

米山梅吉氏（1868～1946）、1920年に東京ロータリークラブを設立し、晩年は財団法人三井報恩会

の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会奉仕業・医療事業に奉仕しました。また子供の教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。

“何事も人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ。”これは、米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人だったそうです。

朱さんも相模原中 RC を通して、日本と中国の架け橋となって、いろいろな平和をもたらしてくださると嬉しいです。

＜委員会報告＞

○会員増強委員会

横江委員長

毎回の報告ですが、本日は阿部会員が1名、香川先生をご紹介されますので、これまで例会にゲストをお呼びした会員は計5名になります。



ぜひ、まだご紹介頂いていない方は宜しくお願い致します。また次回より、会員増強委員会の報告は委員が順番制で行わせて頂きます。（概要にて）

○米山奨学委員会

阿部委員長

今月は米山月間となりますので、本日「米山豆辞典」をお配りしています。

また本日は朱さんの指導教官、青山学院大学の香川先生が朱さんの卓話を聞くため、授業の合間をやり繰り返して、13時頃に来て頂ける予定です。また余談ですが、青学では原監督が「相模原スポーツ宣伝大臣」に任命されたそうです。



次週より米山寄付金（目安として2万円）を集めさせていただきますので、ご協力お願い致します。

（概要にて）

報告事項

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①インターアクト年次大会 登録のお願い

本年度も下記により、三浦学苑高等学校インターアクトクラブをホストに開催されます。提唱クラブには登録及び参加をお願い致します。

日時：11月23日（水・祝）10時～16時

場所：三浦学苑高等学校（横須賀市）

登録料：1人3,000円 登録締切：10月5日

②米山学友会主催「米山クリーンキャンペーン」 （海岸清掃奉仕）延期開催のお知らせ

台風15号の接近により中止となりましたが、改めて開催致します。参加をお待ちしています。

日時：11月5日（土）9時集合 場所：庄治郎丸（船宿）平塚市

登録締切：10月20日

参加費：1,500円（奨学生と学友以外の方）

③地区大会（10月16日）シャトルバスの運行について

JR相模原駅（三菱銀行前）と相模原市民会館の間で、バス2台でピストン運行を致します。

行き：11～13時 帰り：17時～20時

例会プログラム

10月11日卓話「仏像について」永保固紀会員

※12日「千曲川RCとの合同親睦例会」

（会員有志による）

18日→16日（日）移動例会「地区大会」

12:30～点鐘・式典 市民会館

18:00～懇親会 けやき会館

25日夜間例会 18:30点鐘「敦煌」

11月 1日ゲスト卓話「財団月間にあたり」

※詳細未定

定例理事役員会

<10月のお祝・会員誕生日祝>



・大井 達会員 10月16日

・南 篤史会員 10月21日

HAPPY
BIRTHDAY

例会記録

点 鐘 12:30

会 場 中国名采「敦煌」

斉 唱 「国歌君が代」「四つのテスト」

司 会 取住 悦子 SAA

ソングリーダー 諸隈 武会員

ゲスト 香川 秀太氏（青山学院大学 教授）

朱 奕琳さん（米山奨学生）

出席報告

会 員	出席(出席対象19名)	事前メイク者
26名	(Zoom含)23名	0名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(9/20)
2名	92.0%	100%

●例会場 中国名采「敦煌」

〒252-0231 相模原市中央区相模原 2-13-1

TEL 042-756-6555 FAX 042-756-6559

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3

相模原商工会館 3 F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1

●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp

●例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

●編 集 親睦活動委員会

委員長：諸隈 武 副委員長：豊岡 淳

委員：川合 貞義、竹田 繁、黛 裕治

阿部 毅、早川 正彦

●<http://sagamiharanaka-rc.jp/>